

今年のバレンタインデーは、がんの子どもたちのことを考えてみよう

国際小児がんの日 映画上映会

共催：小児がん関連記録映画作成委員会／公益財団法人 がんの子どもを守る会 後援：毎日新聞社

みなさん「国際小児がんの日」をご存じですか？
毎年世界中で17万5千人もの子どもたちが
がんと診断され、そのうちのおよそ9万人の
子どもたちが幼い命を奪われています。
こうした悲しい現実を知ってもらう目的で
国際小児がん親の会連盟(ICCPO)は2002年に
国際小児がんの日(2月15日)を設定しました。

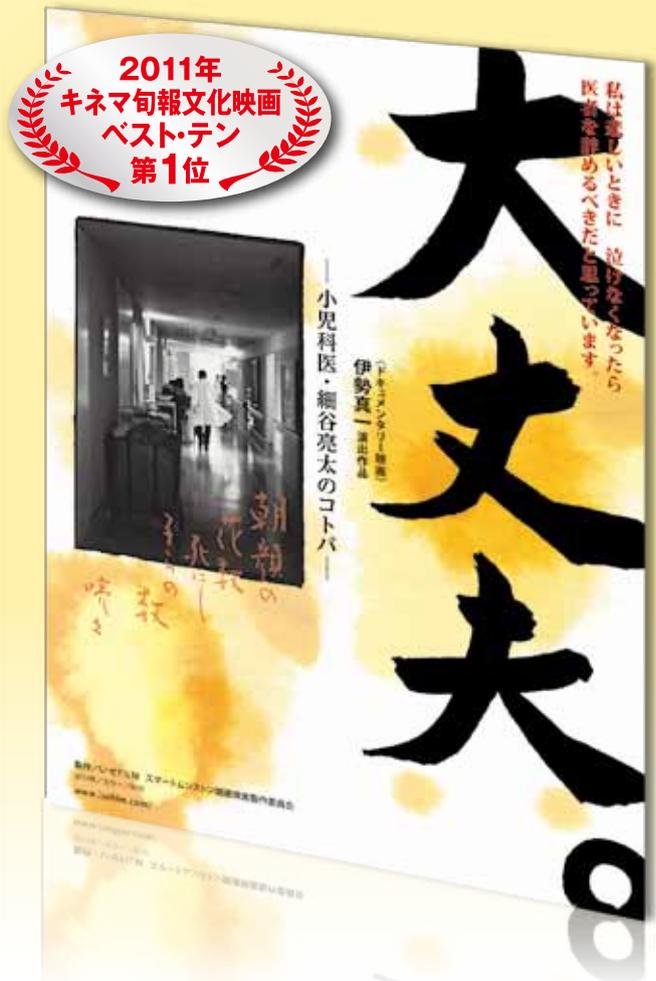
会場：千代田区立日比谷図書文化会館
(日比谷コンベンションホール)

入場無料

先着150名(要申し込み)

日時：2月14日(木) 開場10:30

- ① 映画『風のかたち—小児がん仲間たちの10年—』 11:00 — 12:45
- ② 映画『大丈夫。—小児科医・細谷亮太のコトバ—』 13:30 — 15:00
- ③ トークショー 伊勢真一(映画監督)、細谷亮太(小児科医)、
山下公輔(がんの子どもを守る会理事長) 15:10 — 16:00



日本では年間約2,000人の子どもたちが、あらたに小児がんと診断されています。

小児がんの治療は外科的治療、放射線治療に化学療法を加えた集学的治療により目覚ましい進歩を遂げ、現在では病気によっては約8割の子どもたちが長期生存できるようになっています。とはいえ小児がんは子どもの病死順位の第一位を占めており、年間約500人の幼い命が失われていることも忘れてはなりません。

小児がんの治療は長期に及びます。そのため家族の二重生活、治療中の学校や幼稚園などの問題、進学や就職、結婚出産など様々な課題があります。そのために周囲のサポートが必要になってきます。

皆様の温かいご支援とご理解をお願いいたします。

お問い合わせ

公益財団法人 がんの子どもを守る会 〒111-0053 東京都台東区浅草橋 1-3-12
TEL: 03-5825-6311 FAX: 03-5825-6316 E-Mail: nozomi@ccaj-found.or.jp



CCAJ

公益財団法人 がんの子どもを守る会
Children's Cancer Association of Japan

11:00~12:45 上映

映画『風のかたち—小児がんと仲間たちの10年—』

文化庁映画賞&カトリック映画賞W受賞

監督・演出：伊勢真一／出演：細谷亮太 小児がんと闘う仲間たち ほか
2009年／105分／配給：いせFILM

子どもは死んじゃあいけない人たちだよね？



小児がんを体験した子どもたちに、自然との触れあいや、元患者のボランティアとの交流の機会を与えようというSMSサマーキャンプを、伊勢真一監督が10年間追いつづけた。小児がん患者や体験者

を、悲劇の主人公ではなく、“再生”のシンボルとして描いた本作は、単なる難病を扱ったドキュメンタリーという枠にとどまらず、“悲劇”ではなく“事実”を見つめ、ポジティブに病気を捉え直していこうという、閉塞的な現代の社会へのメッセージとなっている。

13:30~15:00 上映

映画『大丈夫。—小児科医・細谷亮太のコトバ—』

2011年度キネマ旬報ベストテン分化映画部門第1位作品

監督・演出：伊勢真一／出演：細谷亮太ほか／2011年／85分／配給：いせFILM

朝顔の 花数死にし 子らの数(唸々)



40年来、小児がん治療の最前線で子どもたちの“いのち”と向き合い続けてきた、聖路加国際病院副院長・小児総合医療センター長の細谷亮太。映画『風のかたち—小児がんと仲間たちの10年—』で

1000時間にも及ぶ撮影された映像の中で、使用されなかった細谷先生の20時間程の「いのち」を見つめたコトバたち。長い間小児がん治療の最前線に立ち続けてきた医師・細谷亮太の10年間の発言記録と、俳人・細谷唸々として、“いのち”のことを詠み続けた作品の数々を紹介する。

15:10~16:00 『大丈夫。』上映終了後、トークショー



伊勢真一

東京都出身。『奈緒ちゃん』、『ぴぐれっと』、『ありがとう』の奈緒ちゃん三部作や『風のかたち』など

多くのヒューマンドキュメンタリーを製作。近年は若手の作品プロデュースも積極的に手掛けている。日常をふんわりと映し出す映像の中に、生きることの素晴らしさが込められた独特の作風で知られる。



細谷亮太

山形県出身。聖路加国際病院副院長として小児がんの子どもたちの治療に携わると同時に、子ども

たちのキャンプ活動や執筆活動に取り組む。『いつもいいことさがし』(暮らしの手帖社)、『医者が泣くということ』(角川書店)ほか著書多数。俳人・細谷唸々として、句集『桜桃』(東京四季出版)『二日』(ふらんす堂)がある。



山下公輔

(公財)がんの子どもを守る会理事長。1986年、2歳半の長女が急性リンパ性白血病を発症したが、幸いにして

治療。'90年代半ば頃から母親、兄と共に本人も、がんの子どもを守る会の活動に参加。父親として、長い間家族のアッシー君役程度だったが、定年後の第二の勤めで余裕が出来たのを機に、数年前から本格的に参画し、2011年から理事長。

必要事項をご記入のうえ、
FAXでお申し込みください。

★官製ハガキ・メールでもお申し込みできます(下記事項ご記入の上)

- 定員になり次第締め切らせていただきます。ご入場いただけない場合のみご連絡させていただきます。
- ご記入いただいた個人情報は「国際小児がんの日」映画上映会に関するご連絡以外に使用いたしません。

「国際小児がんの日」映画上映会 FAX申し込み用紙

住所 〒

名前

電話番号

FAX

E-mail

ご来場者人数

_____ 名

★なお、官製ハガキ・メールでもお申し込みできます(上記事項ご記入の上)

〒111-0053 東京都台東区浅草橋1-3-12 [メール nozomi@ccaj-found.or.jp](mailto:nozomi@ccaj-found.or.jp)

申し込み FAX番号:03-5825-6316

